

第1問 (仕訳問題)

1. 建物の火災

建物の取得原価¥5,000,000を建物勘定の貸方に計上し、期首までの減価償却累計額¥3,200,000を建物減価償却累計額勘定の借方に計上する。また、建物の帳簿価額¥1,800,000が保険金総額¥2,000,000を下回るので、当該帳簿価額を未決算勘定の借方に計上する。

2. 不渡手形

不渡りとなった手形の額面金額¥80,000を受取手形勘定の貸方に計上し、償還請求にともなう費用¥2,000を現金勘定の貸方に計上するとともに、合計¥82,000を不渡手形勘定の借方に計上する。

3. 割賦販売 (販売基準)

販売基準は商品引渡時に売上収益を認識するので、売価¥270,000をもって、割賦売掛金勘定の借方に計上するとともに、割賦売上勘定の貸方に計上する。

4. 商品保証引当金

修理代金¥60,000を現金勘定の貸方に計上するとともに、前期の決算で計上した商品保証引当金を取り崩すので、商品保証引当金勘定の借方に計上する。

5. 消費税

商品の本体価格¥500,000を仕入勘定の借方に計上し、消費税(¥500,000×8%=¥40,000)を仮払消費税勘定の借方に計上するとともに、合計¥540,000を買掛金勘定の貸方に計上する。

東京CPA会計学院からのお知らせ**【自分の未来を考えるセミナー『未来塾』を開催します】**

- ・何のために働くのか？
- ・本当の学力を身に付けること、とは？
- ・考える力を身に付けること、とは？

これからの進路について、一緒に考えましょう。

開催日時：11/29 (13:00～16:30)

【体験入学会のご案内】

東京CPA会計学院では、『体験入学会』を開催しています。当日は授業体験の他、様々な相談にもお答えいたします。自分の未来を真剣に考えてみませんか？

ご家族の方も、ぜひ、お気軽にご参加下さい。

開催日時：11/22 (10:00～15:00 昼食付)

詳しくはwebまた下記の連絡先まで。

web. <http://www.cpa-net.ac.jp/>

mail. cpa@cpa-net.ac.jp

tel. 0120-55-1937 (月～土：9:00～19:00)

第2問 (株主資本等変動計算書表)

1. 当期首残高

(1) 利益剰余金合計

2,000千円 (利益準備金) + 300千円 (別途積立金) + 6,000千円 (繰越利益剰余金) = 8,300千円

(2) 株主資本合計

40,000千円 (資本金) + 5,000千円 (資本剰余金合計) + 8,300千円 (利益剰余金合計) = 53,300千円

2. 当期変動額

(1) 剰余金の配当等 (平成25年6月26日)

(借) 繰越利益剰余金	2,600千円	(貸) 利益準備金	200千円
		未払配当金	2,000
		新築積立金	400

(注1) 未払配当金: $\text{¥}100$ (配当) $\times 20,000$ 株 (発行済株式総数) = 2,000千円

(注2) 利益準備金: $2,000$ 千円 (配当金) $\times 1/10 = 200$ 千円

(注3) 新築積立金: 400千円 (設定額)

(注4) 繰越利益剰余金: 200 千円 + $2,000$ 千円 + 400 千円 = $2,600$ 千円

よって、利益準備金「200」、新築積立金「400」、繰越利益剰余金「 $\Delta 2,600$ 」、利益剰余金合計及び株主資本合計「 $\Delta 2,000$ 」を記入する。

(2) 増資 (平成25年10月1日)

(借) 当座預金	15,000千円	(貸) 資本金	7,500千円
		資本準備金	7,500

(注1) 当座預金: $5,000$ 株 (発行株式数) $\times \text{¥}3,000$ (払込価額) = 15,000千円

(注2) 資本金: $15,000$ 千円 (払込金) $\times 1/2$ (最低額) = 7,500千円

(注3) 資本準備金: $15,000$ 千円 (払込金) - $7,500$ 千円 (資本金) = 7,500千円

よって、資本金「7,500」、資本準備金及び資本剰余金合計「7,500」、株主資本合計「15,000」を記入する。

(3) 吸収合併 (平成26年1月7日)

(借) 諸資産	100,000千円	(貸) 諸負債	74,400千円
		資本金	10,000
		資本準備金	12,000
		その他資本剰余金	3,600

(注1) 諸資産: 100,000千円 (諸資産の時価)

(注2) 諸負債: 74,400千円 (諸負債の時価)

(注3) 資本金: 10,000千円 (資本金増加額)

(注4) 資本準備金: 12,000千円 (資本準備金増加額)

(注5) その他資本剰余金

$8,000$ 株 (交付株式数) $\times 3,200$ 円 (時価) - $10,000$ 千円 (資本金)

- $12,000$ 千円 (資本準備金) = $3,600$ 千円

よって、資本金「10,000」、資本準備金「12,000」、その他資本剰余金「3,600」及び資本剰余金合計「15,600」を記入する。

(4) 当期純利益（平成26年3月31日）

(借) 損	益	900千円	(貸) 繰越利益剰余金	900千円
-------	---	-------	-------------	-------

よって、繰越利益剰余金、利益剰余金合計及び株主資本合計に「900」を記入する。

(5) 当期変動額合計

- ① 資本金：7,500千円+10,000千円=17,500千円
- ② 資本準備金：7,500千円+12,000千円=19,500千円
- ③ その他資本剰余金：3,600千円
- ④ 資本剰余金合計：7,500千円+15,600千円=23,100千円
- ⑤ 利益準備金：200千円
- ⑥ 新築積立金：400千円
- ⑦ 繰越利益剰余金：△2,600千円+900千円=△1,700千円
- ⑧ 利益剰余金合計：△2,000千円+900千円=△1,100千円
- ⑨ 株主資本合計：△2,000千円+15,000千円+25,600千円+900千円=39,500千円

3. 当期末残高

解答を参照。各列の当期首残高と当期変動額合計を加算して当期末残高を算定する。

第3問 (貸借対照表)

1. 未処理事項

(1) 売掛金の貸倒

(借) 貸倒引当金	4,000	(貸) 売掛金	4,000
-----------	-------	---------	-------

(2) 電話料の自動引落とし

(借) 通信費	15,000	(貸) 現金預金	15,000
---------	--------	----------	--------

(注) 解答の現金預金

$$¥786,010 \text{ (試算表)} - ¥15,000 \text{ (電話料)} = ¥771,010$$

(3) 売上返品

(借) 売上	30,000	(貸) 売掛金	30,000
--------	--------	---------	--------

(注) 解答の売掛金: ¥1,200,000 (残高試算表) - ¥4,000 (貸倒) - ¥30,000 (返品) = ¥1,166,000

2. 決算整理事項

(1) 期末仕入商品の計上もれ

(借) 仕入	20,000	(貸) 買掛金	20,000
--------	--------	---------	--------

(2) 売上原価の算定及び商品評価 (売上原価の集計場所は売上原価勘定とする)

(借) 売上原価	2,350,000	(貸) 繰越商品	2,350,000
売上原価	19,020,000	仕入	19,020,000
繰越商品	2,242,000	売上原価	2,242,000
棚卸減耗損	10,000	繰越商品	10,000
商品評価損	11,000	繰越商品	11,000

(注1) 仕入: ¥19,000,000 (試算表) + ¥20,000 (仕入計上もれ) = ¥19,020,000

(注2) 期末商品

$$¥2,200,000 \text{ (帳簿棚卸高)} + ¥22,000 \text{ (売上返品)} + ¥20,000 \text{ (仕入計上もれ)} = ¥2,242,000$$

(注3) 棚卸減耗損: ¥2,242,000 (期末商品棚卸高) - ¥2,232,000 (実地棚卸高) = ¥10,000

(注4) 商品評価損: ¥22,000 (売上返品の前価) - ¥11,000 (販売可能価額) = ¥11,000

(注5) 解答の商品: ¥2,232,000 (実地棚卸高) - ¥11,000 (商品評価損) = ¥2,221,000

(3) 貸倒引当金

(借) 貸倒引当金繰入額	11,660	(貸) 貸倒引当金	11,660
--------------	--------	-----------	--------

(注1) 解答の貸倒引当金 (要設定額)

$$\{¥200,000 \text{ (受取手形)} + ¥1,166,000 \text{ (売掛金)}\} \times 1\% = ¥13,660$$

(注2) 貸倒引当金繰入額

$$¥13,660 \text{ (要設定額)} - \{¥6,000 \text{ (試算表の貸倒引当金)} - ¥4,000 \text{ (貸倒)}\} = ¥11,660$$

(4) 買掛金から前渡金へ振替

(借) 前渡金	120,000	(貸) 買掛金	120,000
---------	---------	---------	---------

(注) 解答の買掛金

$$¥2,400,000 \text{ (試算表)} + ¥20,000 \text{ (計上もれ)} + ¥120,000 \text{ (前渡金へ振替)} = ¥2,540,000$$

(5) 未払費用の再振替仕訳

(借) 未払費用	210,000	(貸) 給料	150,000
		水道光熱費	60,000

(6) 未払費用の整理仕訳

(借) 給料	165,000	(貸) 未払費用	228,000
水道光熱費	63,000		

(7) 前払費用から保険料へ振替

(借) 保険料	15,000	(貸) 前払費用	15,000
---------	--------	----------	--------

(注) 解答の前払費用：¥120,000 (残高試算表) - ¥15,000 (振替) = ¥105,000

(8) 有形固定資産

① 建物及び備品の減価償却費 (資本的支出を除く)

(借) 減価償却費	76,000	(貸) 建物減価償却累計額	75,000
		備品減価償却累計額	1,000

(注) 解答の備品減価償却累計額：¥471,000 (残高試算表) + ¥1,000 (整理仕訳) = ¥472,000

② 資本的支出の計上

(借) 建物	840,000	(貸) 修繕費	840,000
--------	---------	---------	---------

(注) 解答の建物：¥27,000,000 (残高試算表) + ¥840,000 (整理仕訳) = ¥27,840,000

③ 資本的支出の減価償却

(借) 減価償却費	7,000	(貸) 建物減価償却累計額	7,000
-----------	-------	---------------	-------

(注1) 減価償却費

¥840,000 (取得価額) ÷ 20年 (耐用年数) × 2/12 (平成26年2月～3月) = ¥7,000

(注2) 解答の建物減価償却累計額

¥17,925,000 (残高試算表) + ¥75,000 (期首保有分) + ¥7,000 (資本的支出) = ¥18,007,000

(9) 借入金

① 流動負債と固定負債の振替

(借) 借入金	12,500,000	(貸) 短期借入金	7,500,000
		長期借入金	5,000,000

(注) 残高¥7,500,000は決算日の翌日から1年以内に返済するので短期借入金勘定へ振り替える。
また、残高¥5,000,000は決算日の翌日から1年を超えて返済するので長期借入金勘定へ振り替える。

② 利息の見越し

(借) 支払利息	21,250	(貸) 未払費用	21,250
----------	--------	----------	--------

(注1) 支払利息

¥7,500,000 × 1.8% × 1/12 (平成26年3月)

+ ¥5,000,000 × 2.4% × 1/12 (平成26年3月) = ¥21,250

(注2) 解答の未払費用

¥165,000 (給料) + ¥63,000 (電力料) + ¥21,250 (支払利息) = ¥249,250

(10) 退職給付引当金

(借) 退職給付費用	40,000	(貸) 退職給付引当金	40,000
------------	--------	-------------	--------

(注) 解答の退職給付引当金

$$¥390,000 \text{ (試算表)} + ¥40,000 \text{ (退職給付費用)} = ¥430,000$$

(11) のれん償却

(借) のれん償却額	12,000	(貸) のれん	12,000
------------	--------	---------	--------

(注1) のれん償却額

$$¥180,000 \text{ (試算表)} \div 15 \text{年 (残存償却年数)} = ¥12,000$$

(注2) 解答ののれん

$$¥180,000 \text{ (試算表)} - ¥12,000 \text{ (償却)} = ¥168,000$$

(12) 法人税等

(借) 法人税等	240,000	(貸) 仮払法人税等	140,000
		未払法人税等	100,000

(注1) 損益計算書(税引前当期純利益まで)

損 益 計 算 書		損 益 計 算 書	
平成25年4月1日～平成26年3月31日		(単位：円)	
売上原価	19,128,000	売上高	24,005,000
商品評価損	11,000	受取利息	5,910
棚卸減耗損	10,000		
貸倒引当金繰入額	11,660		
退職給付費用	40,000		
給料	1,765,000		
旅費交通費	120,000		
水道光熱費	543,000		
通信費	175,000		
保険料	195,000		
修繕費	160,000		
のれん償却額	12,000		
減価償却費	919,000		
支払利息	321,250		
税引前当期純利益	600,000		
	<u>24,010,910</u>		<u>24,010,910</u>

(注2) 法人税等：¥600,000(税引前当期純利益)×40%=¥240,000

(注3) 未払法人税等：¥240,000(法人税等)－¥140,000(中間納付)＝¥100,000

(13) 繰越利益剰余金

① 当期純利益

$$¥600,000 \text{ (税引前当期純利益)} - ¥240,000 \text{ (法人税等)} = ¥360,000$$

② 解答の繰越利益剰余金

$$¥1,400,000 \text{ (試算表の繰越利益剰余金)} + ¥360,000 \text{ (当期純利益)} = ¥1,760,000$$